

小石川フィロソフィー I

国語科

1. 目的

小石川フィロソフィー I では、以下に挙げる6年間の研究活動の基盤となる言語運用能力及び情報活用能力の習得を目指している。

〔言語運用能力〕

- ・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にして話す力。
- ・相手の反応や論理の展開を予想して聞く力。
- ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考え、文章の種類や、文体、語句などの表現を工夫する力。

〔情報活用能力〕

- ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解する力。
- ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方を理解する力。
- ・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解し、活用する力。

これらの能力の育成を目指し、「話す・聞く」「書く」の各領域を中心に言語技術を学び、さまざまな言語活動を行う。

2 概要

1学期は、学年開きの要素を含めながら「話す・聞く」の活動を十分取り入れられるよう工夫した。また、学年行事と連携をさせ、新聞を活用した学習活動を行った。調査活動が活発にできるように、図書館司書との連携を密にし、学校図書館を積極的に活用した。

2学期は、思考ツールを活用し、複数の思考整理法を学んだ。自分の感覚を根拠つけて論理的に説明する「問答」や二項対立や譲歩構文を活用し「ミニディベート」などに取り組んだ。ここでは、「話すこと」と「書くこと」の往還を意識し、学習活動を行った。

3学期は、SDGsの諸問題をテーマに据えて研究活動を行い、簡易的な論文を作成、それを基にスピーチを行うことを主な活動とした。研究論文の基本的な構成を学ぶと共に、これまでに学習した内容を必要に応じて適切に活用する力を身につけることを目標とした。

年間を通し、振り返りシートを活用しながら、自らの学習を俯瞰させ、調整する能力の育成も行った。また、一人一台端末の活用も積極的に行なった。

表 1 年間指導計画

4 月	ガイダンス 図書館の活用法
5 月～6 月	読書について考える。 「ビブリオバトル」 説明する技術。「図を伝える」 新聞について学ぶ。「移動教室新聞」
7 月～8 月	聞き取る力。「再話」
9 月～10 月	読み取る力。「絵の分析」
10 月～11 月	意見を深める①「問答ゲーム」 意見を深める②「バタフライチャート」 「譲歩構文」 意見を深める③「ミニディベート」 発想して整理する。「マインドマップ」 べート
12 月	スピーチ(論文)テーマを考える SDGsに 関してマインドマップの活用
2 月	スピーチ原稿作成 クラスでのスピーチ
3 月	学年スピーチコンテスト実施 年間の振り返り・自己評価

3 成果と課題

成果として、空間的序列、時間的序列に従って説明する力の獲得が挙げられる。学習者の振り返りの記述では、「相手に自分の考えや事柄を的確に伝えるには、説明の順序が大事だと学んだ」とあり、実感を伴った学習活動が展開できた。特に、時間的序列の説明は、再現性が重要視される理科のレポートとの親和性が高い。また、さまざまな思考整理法は、他教科での活用も可能である。

課題としては、学習者自身が本講座で学んだ言語運用の方法や情報活用の仕方を、どれだけ自覚的に他教科への運用ができるかが挙げられる。それには、振り返りが重要であるが、学習者の振り返りの記述から、授業者がどれだけ質的評価ができるかが求められる。